

琵琶湖・気候変動対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 令和2年9月8日（火）

2 調査の概要

(1) (甲賀市水口町)

農業技術振興センター茶業指導所では、栽培から製茶までの茶生産の各工程における試験研究に取り組むほか、農業大学の茶専攻生の教育も行っている。また、地球温暖化に伴う暖冬の影響により、凍霜害のリスクが上昇していることから、茶芽の耐凍性診断技術を開発し、凍霜害の回避に向けた技術情報の発信を行っている。

そこで、今後の委員会活動の参考とするため、農業技術振興センター茶業指導所において気候変動に対する茶の適応策開発の取り組みについて調査を行うとともに、茶の育成状況について現地を視察を行った。



(2) (栗東市)

農業技術振興センター花・果樹研究部では、園芸振興に向けて消費者ニーズの高い花や果樹の栽培技術の開発を進めている。現在、果樹において、本県に適したブドウ品種の選定や栽培方法の確立に向けた技術開発、ブドウおよびナシの気候変動に対応した栽培技術の開発に取り組んでいる。

そこで、今後の委員会活動の参考とするため、農業技術振興センター花・果樹研究部において、気候変動に適応した果樹の試験研究の取組について調査を行うとともに、環境制御された果樹のICTハウスの視察を行った。

